令和５年８月４日発行
No.３８８

SHINING

発行元：社会福祉法人 拓く
0942-27-2039
FAX 0942-27-2086
http://h-polepole.com

猛威増す自然災害！ いざという時に備える

７月１０日、連日の大雨による災害対策会議では、当初ポレポレは時間をずらして開所することにしましたが、直後に特別警報(レベル５)が発出されたため急遽閉所することにしました。なんとか出社できた職員で、法人車を高いところに移動させたり、施設内のサーバーやパソコンを移動したりと対策に追われました。施設外就労は稼働しているので、冠水しない道を共有し、渋滞に巻き込まれながら時間を大幅に過ぎて到着。様々な課題に改めて気付かされました。

拓くの関係者の自宅も床上浸水の被害にあわれ、被災から数日経過して職員数名で２日間にわたって水にぬれた家財の運びだし、床を外して泥のかきだしなど支援に入りました。しかし、近隣の家には１週間たっても全く行政の支援はなく、高齢の住民の方たちはなすすべもなく疲弊しており、追加で支援に入りました。

過去に浸水したことはなかった田主丸町では入所施設の１階に一気に水が押し寄せ急遽２階へ避難したそうです。これまで浸水がなかった場所で被害が起こっています。出会いの場ポレポレ、ニュンバも浸水地域にあり、同じように垂直避難するにも、場所・物資の確保、電源の確保、被災後の利用者の暮らし方など様々検討が必要です。

非常時に慌てず行動できるような計画（ＢＣＰ）も策定が義務付けられており、研修に参加したりして策定を進めています。浸水被害は地域一体で規模が大きくなります。私たち１法人のことだけではなく、離れた他施設との連携など広域で考える必要もあるなと実感しています。

今後、担当者会議など面談の際には、大雨時のご自宅周辺の状況や被害の有無、長期化する場合の避難場所など、今後の災害に備えについてヒヤリングさせていただきますのでよろしくお願いします。

（本部長　浦川　直人）

出会いの場Leoは、３周年を迎えました！

令和５年8月１日、「出会いの場Leo」はお陰様で３周年を迎えることができました。この日を迎えられたのも、利用者様ご家族をはじめ、いつも温かく見守ってくださる地域の方々、優しく見守りサポートしてくださる皆様の協力のお陰だと感じております。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

先月の九州北部豪雨では沢山の方の自宅、病院、保育園等が被害に遭われました。自分達に何ができるのかと考える事、現地に行ってできる事、実際にやってみる事、難しい力作業の場合は支援金を集める事など、それぞれでできる事に取り組みました。自分達の事だけではなく、周りに目を向け思いやる事、考える事をこれからは改めてもっと大事に丁寧に取り組んでいきたいと思いました。そう思う事ができたのも、いつも支え見守ってくださる方々のおかげだと感謝しております。

4年目を迎えるLeoですが、これまで以上にそれぞれが力をつけ、学びながら進んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

（出会いの場Leo　管理者　溝尻　博子）

名古屋旅行（2泊3日）を計画します。

令和元年に２回に分けて実施した２泊３日の佐渡旅行（新潟県）でしたが、新型コロナウィルスによりその後の旅行が延期となっていました。コロナ禍でも、家族旅行や日帰り旅行は実施いたしましたが、新型コロナウィルスが５類となった今年、延期となっていた遠方旅行を計画します。

まずは、佐渡旅行に行かれていない方々を対象とさせていただきます。遠方の参加は難しい方もおられますので、長崎方面１泊２日、日帰り旅行の３プランで検討します。対象となる方には、アンケートの提出をお願いいたします。